

# ICタグで金型在庫管理

NTTデータ  
と共同開発

## 横浜工場で実証実験

日産自動車は4日、IC

能拡張を計画している。

Cタグを使った無線識別

同システムは、金型に

(RFID)で金型の在庫

ひもで取り付けた管理表

管理をするシステムを、

に張り付けたIDを読み

NTTデータと共同で開

発したと発表した。從

来、作業者が記憶や帳簿

で管理した金型の製作状況や所在、修繕履歴などの情報を一元管理する。

パワートレインの主要工場である横浜工場(横浜市神奈川区)に先行導入し、半年間の実証実験を行う。今後は他工場での展開も視野に入れ、工程管理や自動発注などの機

採用した。金型在庫の管理精度の向上と、作業者への負担軽減を実現するという。積層型RFIDタグでの金型管理は製造業では世界で初めてとい

う。日産とNTTデータは

今後半年間かけて、駆動部品用の鍛造金型管理での効果を実地検証する。

横浜工場では、日産生産方式(NPW)に加え、金型管理システムを導入することで品質、コスト、納期の一層の改善に取り組むとしている。